

【事業報告】

2023 年・2024 年度 学友会事業報告

〔総 括〕

2023 年・2024 年度の学友会事業は、これまで通り「会員相互の親睦を図る」、「母校の発展を後援する」を念頭に常置委員会を中心に事業計画を立案した。前年度までの新型コロナウイルス感染症による活動抑制が解かれた結果、事業は適正に実施できた。

(1) 母校への後援活動について

入学式・卒業式に臨席し祝辞を述べ学友会活動を紹介した。恒例の就職懇談会では主に就職活動に関する学生からの相談に応じた。入学促進イベントであるオープンキャンパスでは、学友会が担当する日程を、近畿圏の支部が輪番で担当した。参加した高校生や父兄に「診療放射線技師の魅力」を主眼に、各種装置（一般、CT、MRI、マンモ等）について実技を交えて解説した。また、大瑠璃祭では主に3年生を対象に就職や国家試験対策に関する相談コーナーを開設するなど、学園行事に積極的に参画、協力した。

(2) 支部との連携活動について

会員相互の親睦・親交を図るため、定期的な支部総会の開催を要請するとともに、本部役員は可能な限り参加するよう努めた。

(3) 常置委員会について

理事会は、対面＋ Web 会議 (Zoom) によるハイブリッド形式で年 4 回開催した。第 1 回理事会では参加可能な支部長にも Web にて参加していただいた。

(4) 学友会名簿 2022 年版の発行

広告収入も厳しい情勢のなか、2 年ごとに発行している会員名簿を 2024 年 12 月に発行した。

〔委員会報告〕

(1) 庶務委員会

理事会 (年 4 回) は、対面と Zoom を併用したハイブリッド形式で開催した。
会報「学友だより」の発送 (年 4 回)、ホームページの更新、会員情報や役員名簿の管理などを実施した。
また、支部総会や同窓会に対しては、案内状の作成や宛名ラベルの提供などの支援を行った。

(2) 編集委員会

「学友だより」を年 4 回、計 8 号、総ページ数 120 ページで発行した。
支部総会や各種イベントの情報を積極的に掲載し、写真も充実させた。

(3) 企画委員会

1) 就職相談・懇談会

2023 年度・2024 年度ともに開催し、講師や相談員による支援、地域別の相談対応を行った。後日、学生との交流を目的としたあづまやで BBQ も開催した。

2) 大瑠璃祭 (学園祭) の相談コーナー

2023 年は過去最多の相談員参加者となったが、2024 年は相談員の参加者が少なかったため、募集枠を制限した。

3) オープンキャンパス支援

2023 年度・2024 年度ともに、現役の技師による装置の実演や職業紹介を行った。2023 年度は滋賀医科大学医学部附属病院が担当、2024 年度は学友会奈良支部が担当した。

3) 意見交換 BBQ

BBQ を経験したことのない学生が、今後独自で積極的にあづまやを利用してもらえるようにすることを最大の目的とし、2023 年に新企画として実施した。2024 年は天候不良のため中止となった。

(4) 名簿委員会

1) 会員情報の登録および修正

卒業生を正会員として追加し、勤務先や住所変更などに伴う情報修正を継続して行った (累計 529 件)。

2) 会員名簿の発行

2024 年版の会員名簿を発行し、発行費用は約 90 万円、広告収入は 53 万円、頒布収入は 37.5 万円となった。

3)登録状況

会員登録数は正会員 5,122 名で、そのうち連絡先が登録されているのは 84%にあたる 3,498 名となった。

(5)表彰委員会

「学友会功労賞」「学友会奨励賞」「感謝状」「特別表彰」の各種表彰を実施し、計 8 名が受賞した。なお、「学友会栄誉賞」の該当者はいませんでした。

(6)財務委員会

1)一般会計

収入は約 1,042 万円、支出は約 855 万円で、繰越金は約 187 万円となった。

2)終身会費

収入は 525 万円で、積立金は 4,468 万円に増加した。

3)21 世紀創生基金

2 件の寄付(総額 12 万円)があり、繰越金は 466 万円を維持した。

以上

* 通巻 256 2025 年 7 月 10 日発行(2025—No.3)より